

平成15年6月3日
熊本県病害虫防除所長

茶の炭疽病について

1 発生状況

このことについて、5月の巡回調査で1㎡当たりの発病葉数が平均11.6枚と多い状況です(第1表)。この値は最近8年間では平成10年の多発年に次ぎ2番目に多い発生です(第1図)。今後二番茶以降の収穫および次年度の作柄に影響を及ぼすおそれがありますので、今後の発生状況に十分注意してください。

2 今後の予想

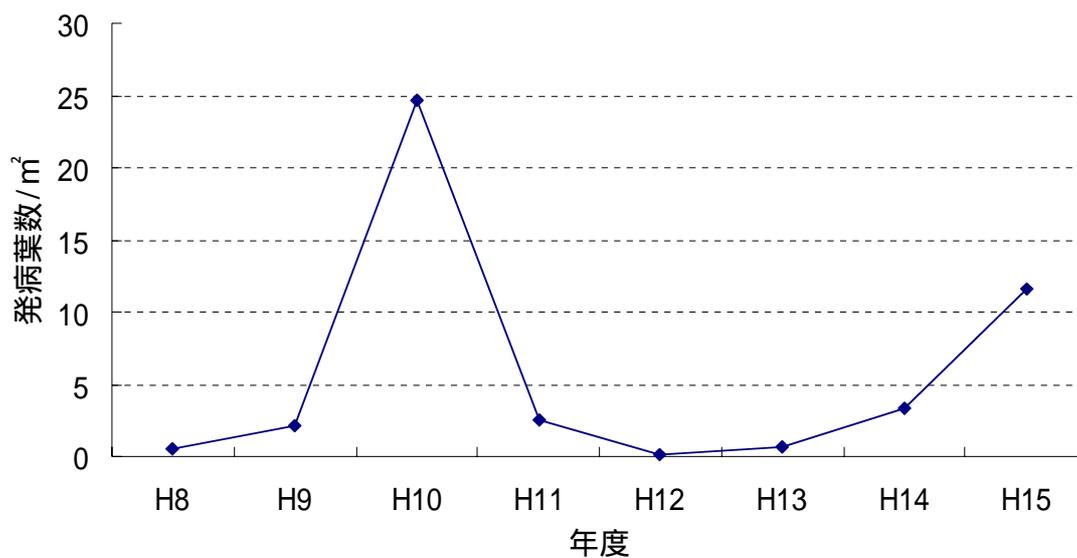
6月の気象予報では降水量は平年並ですが、5月中旬より雨の多い天候が続いており、今後梅雨期の降雨により発生が多くなることが予想されます。

3 対策

- (1) 感染は開葉間もない新葉に限られるため、開葉期に薬剤防除を行うが、摘採までの期間が短いので、安全使用期間に十分注意する。
- (2) 摘採残葉や周辺茶園における発生程度を観察し、降雨を予測して、防除の要否を判断する。
- (3) 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一薬剤の連用を避ける。
- (4) 多発する園では、深刈等で伝染源病葉の除去に努める。
- (5) 農薬の使用にあたっては、使用濃度、収穫前使用日数、使用回数等の農薬使用基準を守って散布する。

第1表 巡回調査における炭疽病発病葉数

調査月	平成15年5月		作物名	茶
調査日	調査地点	品種名	炭疽病 病葉/m ²	
16	錦町木上1	やぶきた	7.00	
16	錦町木上2	やぶきた	13.00	
16	相良村川辺1	やぶきた	5.00	
16	相良村川辺2	やぶきた	12.00	
21	泉村下岳1	やぶきた	23.00	
21	泉村下岳2	やぶきた	43.00	
21	泉村下岳3	やぶきた	17.00	
21	泉村下岳4	やぶきた	12.00	
19	矢部町牧野1	やぶきた	6.00	
19	矢部町牧野2	やぶきた	-	
22	菊池市原1	やぶきた	20.00	
22	菊池市原2	やぶきた	53.00	
23	菊陽町曲手1	やぶきた	0.00	
23	菊陽町曲手2	やぶきた	4.00	
23	菊陽町曲手3	やぶきた	0.00	
23	菊陽町曲手4	やぶきた	0.00	
平均値			11.57	
昨年値			3.40	
平年値			6.28	
発生量(平年比)			やや多	



第1図 巡回調査における炭疽病発病葉数